

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大糸線利用促進及び沿線地域活性化事業 (大糸線モバイルスタンプラリー)
事業主体 (連絡先)	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会 大町市大町 3887 番地 (事務局: 0261-85-0070)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,647,490 円 (うち支援金: 2,015,000 円)

事業内容

- 利用が低迷するJR大糸線の利用促進及び大糸線沿線の活性化を目的として、デジタルスタンプラリーを開催。
- ・主要駅を拠点とし、大糸線の利用促進及び沿線観光スポットやまち歩きに繋げる。
 - ・集めたスタンプ数に応じて、抽選で地域特産品が当たる。
 - ・スタンプ設定地点…32 地点(主要駅 7 駅含む)
 - ・期間: 令和5年10月1日～令和6年1月31日

事業効果

- ※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
- ①景品応募者のアンケートでは、106 名中、半数以上の 59 名(56%)が大糸線を利用したと回答。全体では 600 人程度が利用したと見込まれる。
 - ②参加登録者は 1,087 人。32 地点の総スタンプ取得数は 2,841 個。
1 地点平均で延べ人数約 90 人が現地へ足を運んでいる。
 - ③参加登録者のうち 447 人(41%)は県外居住者。また、SNSによる周知では、約 5,400 回クリックされており、広く情報発信できたものと思われる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業は、同盟会で初の試みであったが、一定の効果は得られたものと思われる。

しかしながら、一時的なイベントごとであることから、今後は北陸新幹線の敦賀延伸等を見据えた観光誘客による利用促進や、新幹線と大糸線の接続強化等による利便性の向上等について、長野・新潟両県のご協力を得ながら、新たな促進策を進めたい。



【周知ポスター及びスタンプ取得地点】

【目標・ねらい】

- ①大糸線の利用促進
- ②大糸線沿線地域への誘客
- ③大糸線のPR

※自己評価【B】

【理由】

- ・希望的な目標値は、参加者数 2,000 人、鉄道利用者は 800 人であった。
- ・但し、一昨年に篠ノ井線で実施した同事業では、2 か月で参加者約 200 人であったため、想定以上の効果又は関心があったものと思われる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある